スレーブ ASA（RPC_SYSTEMERROR）で無効化されたクラスタリング

内容

[概要](#)
[前提条件](#)
[要件](#)
[使用するコンポーネント](#)
[表記法](#)
[背景説明](#)
[問題](#)
[解決策 1](#)
[解決策 2](#)
[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、新しいスレーブ適応型セキュリティ アプライアンス（ASA）装置を既存の ASA クラスタに追加しようとすると表示されることがある エラー メッセージの解決方法を説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- クラスタリングの基礎知識
- ASAでのクラスタリングの設定方法に関する基礎知識
- Secure Socket Layer(SSL)ハンドシェイクに関する基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ASAソフトウェアバージョン9.0以降
- ASA 5580またはASA5585-Xシリーズアプライアンス

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

背景説明

クラスタリングにより、複数の物理 ASA を組み合わせて 1 つの論理ユニットを作成できます。この論理ユニットにより、スループットと冗長性が向上します。クラスタリングの詳細については、『Cisco ASA シリーズ CLI 構成ガイド, 9.0』を参照してください。

このシナリオでは、マスター ASA でクラスタリングが設定され、有効になっています。スレーブ ASA ではクラスタリングが設定されていますが、有効になっていません。

問題

スレーブ ASA でクラスタリングを有効にすると、クラスタリングが即時に無効にされ、リモート プロシージャ コール（RPC）エラー メッセージが表示されます。次に示すのも、エラー メッセージの例です。

```
ASA2/ClusterDisabled(config)# cluster group TEST-Group
ASA2/ClusterDisabled(cfg-cluster)# enable as-slave
INFO: This unit will be enabled as a cluster slave without sanity check and confirmation.
ASA2/ClusterDisabled(cfg-cluster)# cluster_ccp_make_rpc_call failed to clnt_call. msg is
CCP_MSG_REGISTER,
ret is RPC_SYSTEMERROR
Cluster disable is performing cleanup..done.
All data interfaces have been shutdown due to clustering being disabled. To recover either
enable clustering
or remove cluster group configuration.
```

このエラーの原因の 1 つの可能性は、マスター ASA とスレーブ ASA 間での SSL 暗号スイートの不一致です。クラスタリングでは、マスター ユニットと、クラスタに追加されるスレーブ ユニットの間で 1 つ以上の SSL 暗号スイートが一致している必要があります。この要件については、『Cisco ASA シリーズ CLI 構成ガイド, 9.0』を参照してください。

新しいクラスタメンバーは、マスターユニットと同じSSL暗号化設定（SSL encryptionコマンド）を使用する必要があります。

不一致が発生している場合、syslog メッセージが記録されます。

```
%ASA-7-725014: SSL lib error. Function: SSL23_GET_SERVER_HELLO Reason: sslv3 alert handshake
failure
```

不一致の例を次に示します。次に示すマスター ASA での暗号化

```
ASA1/master# sh run all ssl
ssl server-version any
ssl client-version any
ssl encryption rc4-sha1 aes128-sha1 aes256-sha1 3des-sha1
```

とクラスタに追加されるスレーブ ASA での次の暗号化が一致していません。

```
ASA2/ClusterDisabled# sh run all ssl
ssl server-version any
```

```
ssl client-version any
ssl encryption des-sha1
```

このような不一致は、強力な暗号化（3DES/AES）ライセンスがスレーブ ASA にインストールされていない場合によく発生します。デフォルトでは、スレーブ ASA の暗号スイートのリストは **des-sha1 ですが、スレーブ ASA に 3DES/AES ライセンスが追加されるときに、このリストが更新されません。**

この不一致には 2 つの解決策があります。

解決策 1

マスターASAで、有効なSSL暗号**スイートとして**des-sha1を追加します。

```
ASA1/master# configuration terminal
ASA1/master(config)# ssl encryption des-sha1
```

> **注：des-sha1 は弱い暗号であり、脆弱であると見なされているため、シスコではこの暗号を有効にすることを推奨しません。**

解決策 2

スレーブ ASA で、次の SSL 暗号スイートの 1 つ以上を追加します：**rc4-sha1**、**aes128-sha1**、**aes256-sha1**、または**3des-sha1**:

```
ASA2/ClusterDisabled# configuration terminal
ASA2/ClusterDisabled(config)# ssl encryption rc4-sha1
```

関連情報

- Cisco ASA シリーズ CLI 構成ガイド, 9.0
- テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems